



一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2026年3月号

2025年度 第2回二次電池部会を開催

2026年2月12日(木)、遠山部会長(エナジーウィズ株式会社)を議長に2025年度第2回二次電池部会を機械振興会館で開催した。開催に際して、「BAJ競争法コンプライアンス・ルール」を遵守することを確認したのち、部会長ならびに、専務理事より挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。



遠山部会長



清水専務理事

1. 部会長挨拶

工業会活動に対するご尽力改めて感謝いたします。本日は8件の報告がありますが、昨今の電池業界事情として材料費の上昇、国際社会を見ると中・米の環境悪化など目まぐるしく我々を覆う環境が変化していくことを感じます。そんな中、規制強化、安全や品質基準の高度化、リサイクルスキームの強化、ユーザーへの啓発活動などが強く要求されてきており、そんな課題を踏まえて委員の皆様はその対応を担っていただいていると感じています。25年度の活動結果を踏まえて次年度に何を取り組んでいくのかの議論を深めていきたいと考えておりますので、皆様の活発なご意見、ご提案をいただければと思います。

2. 専務理事挨拶（清水専務理事）

部会長からもあったように本日は「2025年度活動総括」、「2026年度事業計画」を検討いただきたい。26年度予算案は、前年を上回る予算となるので、それに合った活動の強化をお願いしたい。

3-①. 各委員会 25年度活動報告及び2026年度活動計画案

各委員長より2025年度活動実績および2026年度活動計画の報告がなされた。

◆広報総合委員会

25年度活動結果および26年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・キャンペーン；「電池月間PRキャンペーン」クイズ実施で応募実績8,758名、「電池川柳コンテスト」作品募集し審査完了、賞品発送準備中
- ・PR活動；以下3つを重点テーマとして活動を実施、

- ①「コイン・ボタン形電池の誤飲事故防止」Instagramショート動画にインフルエンサーを通じて配信、育児系アプリ「mamari」に啓発記事掲載、YouTube：誤飲防止啓発動画配信、雑誌広告：子育て世代への情報発信誌「Happy Note」へ掲載
- ②「自動車用バッテリーの定期点検、買い替え促進」新聞広告：スポーツニッポン 啓発新聞記事の掲載（7月、12月）、スポーツニッポ

ン主催「プロ野球最優秀バッテリー賞」協力、ラジオCM：夏場のバッテリー上がり啓発広告を発信（Tokyo FM 7月に7回放送）、天気情報アプリに8月バナー広告掲載、YouTube：カーバッテリーの点検・交換啓発動画配信（12/3-12/12 閲覧数129万回）

- ③「小型充電式電池の回収リサイクル」tvk（神奈川県ローカルTV）：CM放送（11/11~12/12）、Youtube：リチウムイオン電池リサイクル啓発動画配信（12/3~12/12 閲覧数65万回）、ガジェット系Youtuber（美咲さん）によるショート動画（12/15~1/11 閲覧数157万回）など

・イベント活動；

- ①経済産業省「こどもデー」に出展
 - ②電池フェスタ9/27 静岡県で開催
 - ③手作り乾電池教室 計画26件に対し実施は16件
- ・2026年度活動計画
- ①電池PRキャンペーン；電池川柳コンテストについては内容を再検討予定
 - ②啓発活動；重点3項目について動画広告のより良い活用方法について検討中、また「自動車用バッテリーの定期点検・買替促進」の訴求についてはラジオCMをバッテリー上がりの起きやすい夏場や冬場に発信予定
 - ③新たにBAJの活動を伝えるようなコンテンツの作成を計画
 - ④イベント活動については経産省 子供デーへの参加継続、手作り乾電池教室 計画16件、電池フェスタについては新たなコンテンツ模索のため26年度開催は見送る予定

◆国際環境規制総合委員会

25年度活動結果および26年度活動計画が報告された。

<主な報告>

・主な環境情報は以下

- ECHA、ユニバーサル PFAS 制限提案の SEAC 意見書草案の公開協議に関する説明会を開催
- ECHA、ユニバーサル PFAS 制限提案の SEAC 意見書草案の公開協議に関わるガイダンス／使用マップを公表
- 欧州委員会、電池規則改正を含む複数の環境法令の簡素化をオムニバス第 8 弾として一括提案
- 欧州委員会が電池ラベルに関する実施規則草案を公表、意見公募開始
- ミネソタ州 PFAS 含有製品規制法の実施規則案公表
- ミネソタ州で携帯型電池と中型電池の EPR 法が成立
- 米国 EPA、TSCA に基づく PFAS データ報告規則の改正草案の意見公募を開始
- カリフォルニア州の電池内蔵製品リサイクルに関する主要要件を定める緊急規則が発効
- ミネソタ州当局、PFAS 含有製品規制法を実施する報告要件と料金を定める規則を採択
- 中国：中国、水俣条約締約国会議第 5 回会合決定 第 5/4 号による附属書 A および B の改正を承認

・主な活動は以下

- 国際会議；ICBR（国際電池リサイクル会議 9 月 @バレンシア、スペイン）2 名参加、TWG+（日欧米電池専門会議 10 月 @メキシコシティ）2 名参加
- ・2026 年度事業計画
- 国際会議；ICBR（国際電池リサイクル会議 2026 年 9 月）に継続参加（ベルリン 2 名）

◆資材委員会

25 年度活動結果および 26 年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・共有金型管理状況について資料に基づき報告。今年度更新計画 3 型、2 型については検収まで完了、1 型については製品形状確定で計画通り進捗

・共有金型用ブッシングメーカー生産縮小による代替先検討を実施；現行の生産会社より代替先の検討を申し入れられ（対象 HS60/HS80 蓋ブッシング等）ため、同業他社での代替を決定、初回品の評価中

- ・2026 年度計画；① 2 型(MSE1000 カバー、MSE1000 蓋)更新予定、② 27 年度に更新が必要な金型確認

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

25 年度活動結果および 26 年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・2025 年度 SBRA リサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数純増は 8 月時点で純増 32 件。業種別増減でカー用品店の減 1 件は統合によるもの。上期報告したが、国内 2 位のホームセンターグループである DCM が廃鉛蓄電池を有価売却に切り替えた影響については 1 月時点では確認できない。
- ・25 年度 12 月までの回収量については前年同期比 98%で若干下回る状況。
- ・26 年度施行予定の中小受託取引適正化法（取適法、旧下請法）対応を含め、委託費適正化を事業者と協議し、全委託先と合意済み。
- ・25 年度委託先監査については予定通り 4 社完了。
- ・韓国向け輸出はバーゼル法違反として 2019 年から停止していたが 2024 年 10 月より再開されている。25 年 8 月迄の約 1 年間で 9,507ton が輸出されたが 25 年 9 月以降停止した模様だが、動向を引き続き注視する。
- ・2026 年度計画；25 年度同様の活動を継続する。

◆二次電池技術委員会

25 年度活動結果および 26 年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・各活動テーマの進捗状況については資料に基づ

き報告された（主な内容は以下の進捗）。

- ◆ IEC 関連；60095-8（自動車用鉛蓄電池補機用）CDV コメントレビューが実施され通過し、FDIS は登録済で、順調に進めば5月にISが発行される予定。これに絡めて26年5月21日にTC21 WG2 が開催予定で、この場で60095-8,60095-1 等が議題となるため委員を派遣予定としている。
- ◆ IEC 関連；63711-1（始動用ナトリウムイオン蓄電池）中国より提案がありIEC規格化されることが決定された。自動車の始動用12V系電池であることもあり、（自動車鉛蓄電池でないため）放置することも危険であると判断し、本テーマに対しても委員登録し規格開発に参加している。（日本では該当電池を開発している会社がないため）情報収集だけとなるが、日本に不利な規格が開発されないように動向を注視したいと考えている。
- ◆ SBA 関連；「S 0402：鉛蓄電池用セパレータ」2/2 改正版発行で完了。「S 0301：可搬鉛蓄電池」及び「G 0101：始動用（自動車用）鉛蓄電池の安全・取扱い指針」は25年度中に改正版発行予定。G 0902：浮動充電用整流装置－設計指針は改正要否レビュー結果を“確認”とすることで決定。その他3件は改正作業を開始し、いずれも26年度中に改正版発行予定。

・重要テーマ・トピックス；第1回部会報告以降の重要トピックスなし

・2026年度事業計画；以上の報告に織り込み報告済みだが、60095-8 制定もほぼ完了し、26年度は大きなテーマはないと認識しており、定期的なJIS、SBA 改正が主な活動となる。

◆ PL 委員会

25年度活動結果および26年度活動計画が報告された。

<主な報告>

・25年度の重点取り組み課題は①市場における爆発事故発生状況の監視及び事故防止のための啓発活動、②硫化水素発生による事故防止の

ための啓発活動、③『蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン』の2026年度改正、④nite に関する報告ルール見直し、⑤産業電池のPL 活動の要否検討

・全国自動車電装品整備商工組合連合会（電整連）会員向けの安全啓発活動；大型車両の整備を主とする国内の主力電装店（約1,200店）に対して、日常点検の重要性を啓発し、現場での爆発防止活動をはかる目的で、電整連会報誌（12月号）に、『BAJリーフレット「プロユーザー向け バッテリー爆発防止のための点検の重要性」』を掲載頂いた。

・硫化水素発生による事故防止のための啓発活動について；(1)日本RV協会と連名で作成した注意通達を協会本部から全会員へ配信し、これによる研修会も実施いただいた、(2)RV協会HPへの「TS-017(バッテリーの排気パイプ取付け啓発リーフレット)」掲載の賛同を得た、リーフレット完成後に再度訪問予定としている。

・「安全確保のための表示ガイドライン」2026年12月改正発行に向け、PL委員会としてのチェックリストの改正草案を11月完成し、技術委員化への確認依頼を申し入れ済み。

・nite に関する報告ルール見直し；国土交通省物流・自動車局 審査・リコール課への確認結果、詳細は添付の表によるが、用途使用での重大製品事故の場合 国交省の自動車ホットラインへ報告、用途使用での非重大製品事故の場合、報告は個社判断に委ねることとし、報告必要時は個社から報告、用途外使用での重大製品事故の場合、四半期締め翌月末報告、用途外使用での非重大製品事故の場合は、報告不要となる。

・爆発事故発生件数を表1に基づいて説明、件数は上期17件で特異な数値ではなく、用途別ではバス／トラックがやや多いという状況だった。爆発の推定原因（表2）については液切れ（83%）が例年同様多いことが確認でき、引き続きそれに対するメンテナンス等の啓発活動を継続する。

・26 年度活動計画；(1) 市場における爆発事故発生状況の監視及び事故防止のための啓発活動継続、(2) 『蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン』の 2026 年改正、(3) 製品事故発生時の報告ルールの整理、(4) 安全啓発用リーフレット改訂予定 1 件 TS-005 (バッテリー爆発防止)

◆産電リサイクル委員会

25 年度活動結果および 26 年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・広域認定 331 号変更申請 6 月提出、環境省本省 8 月 29 日認定証発行
- ・広域認定の作業手順が環境省からの手引き等の変更に伴い、申請手順を取りまとめた手順書 (マトリックス) を作成している
- ・回収量の報告；環境省へ広域回収量、経産省へ小型鉛蓄電池回収量 いずれも完了
- ・アルカリ蓄電池の新規処理事業者発掘については引き続き検討しているが、目途が立っていない状況。
- ・環境省への回収量報告 経済産業省への次年度報告について纏め；EW/FB が同グループ傘下になったことから、26 年度以降の報告ルールを変更。①環境省への報告は EW より環境省に報告、②経済産業省分は BAJ に依頼がある為委員長会社が報告とし、①②共各社は自社の数字のみの認識に変更
- ・2026 年度も 25 年度同様の活動を実施する。

◆環境委員会

25 年度活動結果および 26 年度活動計画が報告された。

<主な報告>

- ・欧州電池規則関連；第 7、8、13、16、20、30、38、74 条について各社の現状を 9 月時点

で確認、①第 7 条及び ANNEX II 規定 産業用電池の CFP 算定方法については JRC レポート (実施法の基になる可能性が高い資料) の勉強会に参加し情報を収集、②第 13 条 (ラベル表示・マーキング) については実施法ドラフトが 2025 年 12 月 15 日に公開されており、適応開始時期は 2028 年初頭と推定、③その他の条項については特に進展がないことを確認

・SDS ガイドライン改訂の再検討；技術委員会より日欧米以外のガイドライン作成・掲載について再要望があり検討したが、日欧米以外各国における規制指針に統一性が見られない状況が散見され、信頼性を担保した統一ガイドライン策定及び維持更新は困難と判断した。

・欧州電池規則については各社ともに情報を得られずに対応に困っている状況が継続しているが、引き続き欧州の動きを注視して対応を進める。

・26 年度下期活動計画；25 年度同様

(1) 鉛蓄電池に関する国内外の環境状況の変化の確認と対応、(2) 鉛蓄電池に関する国内外の環境関連法の確認と情報発信及び対応を実施していく。

4-②. 審議事項

- ・二次電池部会 2026 年度事業計画案；異議なく承認された
- ・二次電池部会 2026 年度予算案；異議なく承認された

5. 事務局報告・連絡、その他

・次回開催予定 (確定)

2026 年 10 月 8 日 (木) 13:30～ web 会議

・次々回開催予定 (予定)

2027 年 2 月 4 日 (木) 13:30～ 機械振興会館 (仮決め)

以上

2025年度 第4回一次電池部会を開催

2026年2月18日(水)、植松部会長(セイコーインスツル株式会社)を議長に2025年度第4回一次電池部会を機械振興会館で開催した。開催に際して、「BAJ競争法コンプライアンス・ルール」を遵守することを確認したのち、部会長ならびに、専務理事より挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。



植松部会長



清水専務理事

1. 議事内容

(1) 植松部会長の挨拶

2025 年度最後の一次電池部会となります。来月、開催予定の電池工業会理事会において、来期事業計画の審議が予定されております。各委員会におかれましては、2025 年度の事業報告、2026 年度の事業計画を報告いただくとありますが、よろしく願いいたします。

(2) 清水専務理事の挨拶

本日は 2025 年度の活動総括、2026 年の事業計画の事業検討をお願いしたいと思います。2026 年度予算は前年並みの計画で理事会の承認を得ようとしています。しっかりとした活動になるよう事業計画のご確認をお願いします。

2. 審議事項

1) 各専門委員会報告 (2025 年度活動報告 /2026 年度事業計画)

①ポタン電池回収推進委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2025 年度 活動総括

・実績：協力店数、回収依頼件数とも微増（4～1月）。

・法改正の動向：1月14日に廃掃法施行令のバブコメが開始された（～2月13日）。3月中旬公布、同日施行の予定。

* 2026 年度 事業計画

・協力店微増、回収量微減を計画。
・サンプリング調査を継続。

②器具委員会

資料を基に下記の報告があり承認された。

* 2025 年度 活動総括 ・BAJ ホームページ「携帯電灯の正しい使い方」の改訂実施

・「電池器具安全確保のための表示に関するガイドライン」の改訂実施
・視野拡大を目的とした視察研修会の実施

* 2026 年度 事業計画

・BAJ ホームページ「携帯電灯の正しい使い方」の

改訂審議

・「電池器具安全確保のための表示に関するガイドライン」の改訂検討

・委員会活動における視野拡大を目的とした視察研修会の検討

③資材委員会

資料を基に下記の報告があり承認された。

* 2025 年度 活動総括

・電池主要 4 材料（Zn、Li、Ni、Co）の市場調査（需給・価格動向）を 5 月、7 月、11 月 及び 1 月に実施。

・独立行政法人 JOGMEC（エネルギー・金属鉱物資源機構）と電池主要材料（Zn・Li・Ni・Co）を中心とした意見交換会を 11 月に実施。

・コンプライアンス遵守に関し、公正取引委員会が発表した取適法（旧 下請法）違反勧告事例（計 35 件） 及び 2026 年 1 月 1 日に施行される取適法（改正下請法）の対応について意見交換を実施。

・視察研修会として、三池精錬株式会社溶錬工場（福岡県）を 7 月に訪問。

* 2026 年度 事業計画

・電池主要 4 材料の市場調査（Zn、Li、Ni、Co）
・独立行政法人 JOGMEC（エネルギー・金属鉱物資源機構）との主要電池材料の需給状況に関する意見交換会

・コンプライアンス遵守の取り組み（取適法・独禁法・人権・環境・物流などの情報交換）

・視野・見識拡大を目的とした視察研修会の実施

④消費者委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 消費者委員会傘下 ニッケル水素 WG 廃止に関する審議

・総合的に判断し、WG としての役割は一定の区切りを迎えたものと判断したため、廃止を決議・承認した。

* 2025 年度 活動総括

- ・有事発生時の支援物資供給可能数について、4月及び9月に定期更新を実施し、経産省へ報告。
 - ・災害発生時の支援物資対応の実践（経産省要請時）
- 「有事発生時の支援物資供給対応業務マニュアル」を10月1日付けで改訂し関係者への周知を実施。
- ・視察研修会として、東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県）を10月に訪問。

* 2026年度 事業計画

- ・有事発生時の支援物資供給可能数の定期更新実施と経産省への報告。（4月・9月・長期休暇前）
- ・災害発生時の支援物資対応の実践（経産省要請時）有事発生時の支援物資供給対応業務マニュアルの周知と改訂
- ・委員会活動における視野拡大を目的とした視察研修会の実施（10月）

⑤ P L 委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2025年度 活動総括

- ・2024年度の一次電池重要クレーム情報のまとめ
- ・NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有
- ・BAJ ホームページの「電池の正しい使い方」などの改訂検討
- ・視察研修会:JFE 条鋼株式会社 鹿島製造所訪問

* 2026年度 事業計画

- ・会員会社5社の2025年度一次電池重要クレーム情報のまとめ
- ・NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有
- ・BAJ ホームページ「電池の正しい使い方」、「We LOVE DENCHI」を改訂要否検討、対応実施
- ・委員会活動における視野拡大を目的とした視察研修会の実施

⑥ 技術委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 2026年度 事業計画は添付資料にて説明。

1.1 JIS 規格原案作成

- ・第2回素案作成委員会は書面審議済。最終原案を2月末提出予定。

1.2 IEC/TC35（一次電池）関連規格

- ・IEC 60086-1 ED14 FDIS 承認済, ISは2026年7月予定。

- ・IEC 60086-2 水溶液系と非水溶液系に分割する規格が開発中。FDISは済, ISは7月予定。

- ・IEC 60086-3 進行中のプロジェクトはなし。Stability dateについて次回IEC会議にて審議予定。

- ・IEC 60086-4 進行中のプロジェクトなし。TR60086-7 DTR 回覧待ち。26年4月TR発行に向けJPNC主導で推進中。

- ・IEC 60086-5 ED6 CDに対するコメント審議実施。CDV 6月、FDIS 27年1月、IS 27年4月予定。

- ・IEC 60086-6 ED2 CD回覧済。JPNCコメント検討中。CDV 26年12月、FDIS 27年7月、IS 27年12月予定。

- ・IEC62281 ED5に向けIEC事務局からNa-ion電池を追加するQ文書を回覧待ち。

2.コイン形リチウム二次分科会

- ・IEC 61960-4 AMD1 開発は中止。IEC62133-2のED2 CDV承認後に正式な取り下げを予定。26年5月予定。

3. PFAS 規制対応 WG 活動

23年度のパブコメ提出以降は特に活動無し。

4.その他

誤飲事故調査アンケート

- ・アンケート回答状況は2月2日時点で回答率62%。締切を2月末まで延長する予定で、アンケート結果は26年5月頃公表見込。

- ・25年度の活動費用見込みと26年度計画につ

いて

25年度は IEC TC35 会議を大阪で開催したため、26年度予算では IEC TC35 への出張回数は増える。

26年度活動計画と新体制（案）の審議，事務局および委員交代等についての諸連絡を行った。

* 2026年度活動計画

5.技術委員会開催日程

年4回開催予定（web2回、対面2回）

6.体制について

・コイン形リチウム二次分科会を廃止して規格委員会内に取り込み，IEC TC35 の枠組みに応じた区分の“WG+番号”で役割分担をして，担当主査会社の見直しも実施した新体制で活動する

⑦ 国際環境規制総合委員会

* 二次電池部会 国際環境規制総合委員会の欄をご参照ください

⑧ 広報総合委員会

* 二次電池部会 広報総合委員会の欄をご参照ください

2) 2026年度 部会組織及び事業計画理事会資料
2025年度費用見込/2026年度予算
事務局より資料を基に下記の報告があり、承認された。

①組織体制

・2026年度の変更点 ニッケル水素 WG、コイン

形リチウム二次分科会の廃止

②一次電池部会

・2025年度活動費見込み
・2026年度計画

③ボタン電池回収推進センター

・2025年度活動費見込み
・2026年度計画

3. 事務局報告

1) 統計データ報告

・2026年度12月度までの販売数量・販売金額の自主統計について報告。

2) 委員登録

・2025年度 電池工業会 一次電池部会 委員登録（2025年12月9日更新）

3) 2026年度 一次電池部会 開催日程の連絡

2026-1 6月17日（水）
東京 機械振興会館

2026-2 9月16日（水）
オンライン会議

2026-3 12月16日（水）
オンライン会議

2026-4 2月17日（水）
東京 機械振興会館

* 2026年度 部会長：株式会社三菱電機ライフネットワーク / 副部会長 東芝電池株式会社

以上

2026年2月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	9日(月)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換他
	13日(金)	広報総合委員会	次年度施策検討他
	17日(火)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	福岡県、東京都③会場の修了考査判定
	18日(水)	蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備 資格登録の審査、型式認定の審査
	29日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、2026年度の事業計画確認
二次電池部会	6日(金)	自動車鉛分科会	SBA規格 G 0102 自動車用鉛蓄電池を使用する機器設計の技術指針 改正案審議
	12日(木)	二次電池部会	2025年度事業報告及び2026年度事業計画、予算審議
	13日(金)	充電器分科会	JIS C 4402 改正審議他
	16日(月)	自動車技術サービス分科会合同委員会	新規製作リーフレットの最終確認 他
	17日(火)	小形鉛分科会	SBA規格 G 0202 小形制御弁式鉛蓄電池—保守取扱いの技術指針 改正案審議
	19日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域331号変更申請準備、広域マニュアル作成
	20日(金)	用語分科会	SBA G0805様式審査 他
	24日(火)	据置鉛分科会	JIS C 8704-1 改正案審議
二次電池第2部会	5日(木)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	6日(金)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格検討
	10日(火)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	13日(金)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定
	13日(金)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	18日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	18日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	19日(木)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 Ed2 CDV審議
	24日(火)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	25日(水)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する技術検討
	26日(木)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	27日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	性能規格の改訂審議
	27日(金)	PL委員会	安全啓蒙施策、事故情報集計
一次電池部会	3日(火)	コイン形リチウム二次分科会	IEC62133-2 CCオブザベーション確認
	4日(水)	規格委員会	IEC60086-1,-2-1,-2-2, 86-4, 86-5, JIS C 8513審議
	5日(木)	規格委員会	IEC62281, 60086-6審議、26年度事業計画共有
	6日(金)	技術委員会	規格委員会、コイン形リチウム二次分科会の報告、事業計画共有
	16日(金)	ボタン電池回収推進委員会	2026年度の事業計画審議、役員改選
	18日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告および審議

12 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2025年 12月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	362,735	147,445	94%	105%	4,032,866	1,565,887	103%	101%
一次電池計	264,541	12,066	100%	105%	2,825,283	120,182	106%	105%
酸化銀電池	64,108	2,101	111%	117%	766,686	24,947	117%	122%
アルカリ乾電池計	118,401	5,439	99%	101%	1,126,329	45,527	97%	96%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	82,032	4,526	96%	106%	932,268	49,708	111%	108%
二次電池計	98,194	135,379	81%	105%	1,207,583	1,445,705	96%	101%
鉛電池計	2,984	25,029	103%	106%	29,885	244,609	103%	106%
自動車用	2,432	17,458	103%	106%	23,380	161,998	104%	107%
その他の鉛蓄電池	552	7,571	102%	107%	6,505	82,611	101%	103%
アルカリ蓄電池計	28,314	19,475	76%	80%	391,624	265,726	102%	79%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	66,896	90,875	83%	113%	786,074	935,370	93%	108%
車載用	36,069	65,098	67%	102%	467,749	705,921	81%	101%
その他	30,827	25,777	115%	152%	318,325	229,449	118%	136%

12 月度電池輸出入実績（財務省貿易）

（2025年 12月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	181,703	89,288	91%	108%	2,113,196	856,793	105%	106%
一次電池計	118,993	4,539	99%	105%	1,373,015	49,508	116%	114%
マンガン	0	1	-	-	61	3	-	-
アルカリ	13,308	303	113%	102%	138,200	3,175	113%	104%
酸化銀	61,100	1,870	111%	119%	692,615	20,070	118%	120%
リチウム	44,585	2,364	83%	97%	542,139	26,094	114%	113%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	0	0%	0%
その他の一次	0	1	-	-	1	166	43%	42%
二次電池計	62,710	84,750	80%	108%	740,180	807,284	89%	106%
鉛蓄電池	177	1,630	111%	115%	1,681	15,113	99%	101%
ニカド	301	114	128%	109%	1,807	903	83%	105%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	11,423	17,184	119%	89%	118,449	183,431	92%	104%
リチウムイオン	35,723	59,026	63%	113%	470,877	550,156	82%	109%
その他の二次	15,086	6,796	124%	118%	147,366	57,682	117%	88%
全電池合計（輸 入）	120,942	60,373	96%	107%	1,569,520	583,190	105%	103%
一次電池計	112,100	2,471	96%	97%	1,469,709	32,651	105%	106%
マンガン	8,959	142	98%	98%	90,551	1,576	96%	97%
アルカリボタン	3,244	27	131%	116%	33,229	328	116%	113%
アルカリその他	82,556	1,342	90%	88%	1,125,299	17,986	105%	103%
酸化銀	201	13	115%	104%	1,981	119	99%	113%
リチウム	12,815	686	126%	115%	162,809	9,868	113%	123%
空気亜鉛	4,324	77	113%	99%	55,755	1,070	96%	91%
その他の一次	0	184	13%	99%	85	1,705	119%	83%
二次電池計	8,842	57,902	96%	107%	99,812	550,539	106%	102%
鉛蓄電池	847	5,240	96%	103%	9,995	62,654	102%	105%
ニカド	3	241	8%	139%	633	2,169	83%	88%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	1,877	538	81%	97%	21,546	5,419	97%	111%
リチウムイオン	5,988	46,774	101%	103%	66,698	441,171	109%	110%
その他の二次	127	5,109	248%	196%	939	39,127	406%	57%